

な か ま

児童・生徒の皆さんへ

【1】皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？夏休み中にはリオデジャネイロでオリンピックが開催されていたので、私は大いに観戦・応援をしていました。史上最高のメダル獲得数ということで、日本からは熱狂的な報道が伝わってきましたが、隣にあった中学校に在籍していた生徒が出場していたこともあり、遠く離れた地ではありますが、私にとっても身近なオリンピックに感じられました。◆スポーツからは様々なことを学ぶことが出来ますね。日々の鍛錬の大切や、他の人と協力していくこと。うまくいったとき・うまくいかなかったときにどういう態度でいるべきか。また、ゴルフというスポーツは基本的には審判がない？スポーツだといえます。ですから、自分自身が審判となり、正直に自分の結果を申告することになります。「紳士のスポーツ」といわれ、非常に長きにわたって人々に愛されてきたのは、そんなことが理由からかもしれません。◆皆さんの夏休み中の成果はどうでしたか？夏休みに限らず、また、日本語学校のことに限らず、正直に自分と向き合って、日々の鍛錬をしていくことがとても大切であることを、オリンピックは教えてくれましたね。◆さて、アメリカに住む皆さんは、陸上競技の4×100メートルリレー決勝をどんな風に見たのでしょうか？日本の選手たちが銀メダルを取ったことに対するうれしい気持ちと、アメリカの選手たちが日本に負けて銅メダルとなったことへの残念な気持ちが混ざり合っていたかもしれません。

『海外子女教育』という雑誌社から次のような作文の募集が届いています。9月11日までに提出してくれば、編集部に送ってみたいと思います。応募は担任まで。

◇世界各地にある日本人学校や補習校に通う子どもたちは、どのようにオリンピックやパラリンピックを見たのか。現地理解教育の可能性や、海外在住の子どもたちの「日本」や「滞在国」に対する思いを探る。

<募集原稿>

リオ・デ・ジャネイロ オリンピック・パラリンピックに関する子ども達の作文（タイトルは自由。たとえば、日本と滞在国の試合を見ての応援記、映像を見て感動したこと・考えたこと、友達との観戦記など、関係のあることであれば何でも構いません。）

<字数> 400～800字程度

【2】オリンピックには及ばないかもしれませんが、本校でも運動会が予定されています。保護者の皆さんや先生たちが、皆さんにとって少しでも充実した日となるように、一生懸命準備を進めてくれています。皆さんも一生懸命取り組んで、気持ちや元気ではオリンピックに負けないような運動会づくりに協力してください。さて、運動

プリンストン日本語学校

平成28年度 No. 15

平成28年8月28日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



会の紅白分けも進んでいますね。転入生があるため、少し調整が必要なクラスもあるかもしれませんが、君はどちらの組になりましたか？日本で運動会が始まったのは今から140年ほど前の明治という時代です。運動会の鉢巻は、髪の毛が邪魔にならないようにするためや汗が目に入らないようにするためです。また、ひと眼でどちらのチームであるのかを判断する目印になりますね。運動会では、配られた鉢巻をしっかりと着用してください。でも、どうしてチームは赤と白なのでしょう？それには次のような言い伝えがあります。今から800年以上も前昔に「平治物語」という本が書かれました。その中に「源氏は白の旗を、平氏は赤の旗を風になびかせ戦っている」という内容があります。運動会の赤白も、これになぞらえているといわれています。源氏と平氏のことは小学校6年生で勉強しますが、興味のある子は図書室で本を探してみましょ。

スイカ割り

先週は、幼稚部やプリンストンコース小学部で「スイカ割り」を行いました。「右、右！」「もっと左！」「そこそこ！」などの周囲のお友達の声に導かれて、ボカッ・ドスッ！！見事スイカは割れました。広報部の方から幼稚部の様子を、『週刊NY生活』に投稿していただきました。詳細は、そちらをお楽しみに。



伊藤園新俳句コンテスト・セミファイナリスト

7月は、次の2名が「伊藤園新俳句コンテスト」のセミファイナリストに選ばれました。

◆ なつやすみ にほんでまつり いけるかも

中谷理沙(プリンストン日本語学校4年)

◆ あつすぎる だったらやっぱ プールだね

村尾音々(プリンストン日本語学校4年)。

今後の予定

本 日 担当部長連絡会 13:00 (304)
児童・生徒紅白分け完了
9月 3日 土曜授業日 JASLT 開始
算数・数学授業はありません
クラス委員総会
9月11日 ADULT 開始 運動会予行①
9月18日 運動会予行② 司会者打合せ